

next+

信州アーティスト活動促進事業

N-ART 2024

出品作家 小山利枝子/ナカムラジン/中村眞美子/松本直樹/矢島史織

2024年11月20日[水]—27日[水] 10:00—17:00 *休館日:11月25日[月]

ホクト文化ホール1F ギャラリー

〒380-0928 長野県長野市若里1丁目1-3

主催 | ISHIKAWA地域文化企画室

共催 | (一財)長野県文化振興事業団

猛暑の夏が終わり、不安定な気候や災害に心を痛めることも多いこの頃ですが、夏目漱石は『草枕』の冒頭で「兎角に人の世は住みにくい。……どこへ越しても住みにくいと悟った時、詩が生れて、畫が出来る。」と書いています。

なかなか心晴れない世情ですが、この展覧会では、それぞれ作家の表現との対話をお楽しみいただきたいと思います。

長い間、多くの作家の作品の変化、作家生活の変遷を見てきました。常に変化しようとし、戦い続けることが作家の生命線なのかもしれないと思います。

今回の作家たちは、キャリアやジャンルは様々ですが、それぞれ変化し続けて、今の時代と向き合い、制作しています。

表現の方法も、広がる世界も違う魅力的な作家が揃いました。どんな展示になるかワクワクしています。ぜひお出掛けください。

石川利江 [ISHIKAWA地域文化企画室]

イベント nextギャラリー・トーク
「わたしたちの創る」

日時 | 11月23日[土] 14:00—15:30

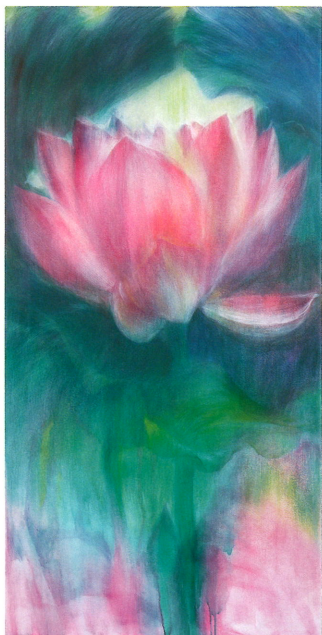
県ゆかりのアーティストの活動促進をサポートする事業《next》。信州を中心に活動する作家たちの制作の核にあるものを聞きたいと思います。

小山利枝子・ナカムラジン・
中村眞美子・松本直樹・
矢島史織

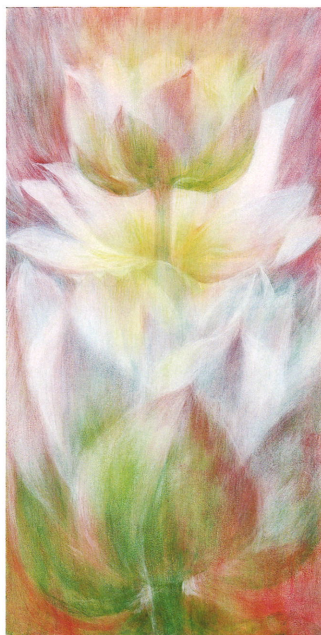
本展出品アーティスト

横島藍 [絵画 長野市]・
津田翔一 [絵画 長野市]

next登録アーティスト



01



02

01 | 《lotus-birth》
小山利枝子
2024年
キャンバスにアクリル
1940×970mm

02 | 《lotus-life》
小山利枝子
2024年
キャンバスにアクリル
1940×970mm

小山利枝子 [絵画 長野市]

KOYAMA Rieko

1955年 長野県長野市生まれ、1979年 東京芸術大学美術学部絵画科油画専攻卒業、1994年「VOCA展」上野の森美術館(東京)、2001年「光とその表現展」練馬区立美術館(東京)、2002年「彼女たちが創る理由」長野県立信濃美術館(長野)、2004年『種子の秘密』文化庁買い上げ優秀美術作品、2006年 文化庁海外研修制度によりオランダ滞在、2008年「ドマーニ明日展」国立新美術館(東京)、「絵画のコスモロジー」多摩美術大学美術館(東京)、2009年「花と生命のイメージ展」横須賀美術館(横須賀)、2016年「小山利枝子展 光の花」おぶせミュージアム中島千波館(長野)、2021年「シンビズム4」上田市立美術館(長野)、2022年「小山利枝子展—LIFE BEAUTY ENERGY」池田20世紀美術(静岡)、2023年「next+ 小山利枝子展 ENERGY OF FLOWERS」ホクト文化ホール(長野)、2024年「もんぜん千年祭2024」信州善光寺 大勸進 紫雲閣(長野)、その他個展グループ展多数



ナカムラジン [絵画・版画 御代田町]
NAKAMURA Jin

1959年 長野県生まれ、1984年 信州大学教育学部卒、「8th日本グラフィック展全日空賞」受賞、2006年「TRIO DI ARTISTI DELLA MOSTRA D'ARTE CONTEMPORANEA」(イタリア)、2012年「アートフェア東京 現代作家茶碗特集」日本橋三越本店(東京)、2013年「RIMPA MODERN」伊勢丹新宿店(東京)、2014年「偶像崇拜」ShonandaiMY Gallery(東京)、2015年「圖像宇宙」Space 563(台北)、「ART Monaco」(モナコ)、「YIA Art Fair」(パリ)、2017年「偶像寓意花鳥図譜」日本橋三越本店(東京)、2018年「楽しい器展」高島屋日本橋店(東京)、「偶像寓意花鳥図譜圖」銀座三越(東京)、2020年「縄文アイドル・立体編」浅間縄文ミュージアム(長野)、「偶像寓意花鳥浪漫美術展」志賀高原ロマン美術館(長野)、「偶像寓意花鳥図譜圖」銀座三越(東京)、2022年「アートフェア東武」東武百貨店(東京)、2023年「偶像寓意花鳥図譜圖」名古屋三越(愛知)、「FUSIONカミホテクスピタマイシト」イスム表参道(東京)、2024年「もんぜん千年祭」善光寺 寿量院(長野)、仏像ギャラリー 三上(京都)など

03 | 《龍頭観音》
ナカムラジン
2024年
和紙・アクリル・
岩絵具・墨・箔
530×333mm

04 | 《ヒガンバナ》
中村真美子
2024年
紙に水彩
200×155mm

05 | 《きつちよむの壺
逆さ唐子図》
松本直樹
2015年
陶器(伝景徳鎮)
を切断、継ぐ
145×200×200mm

06 | 《Monster #24》
矢島史織
2024年
紙本彩色
φ900mm



04



05



06

矢島史織 [日本画 岡谷市]
YAJIMA Shiori

1979年 長野県生まれ、2005年 多摩美術大学大学院 美術研究科絵画専攻日本画領域修了、〈個展〉2022年「めくるめく、ひとときの白」軽井沢現代美術館(長野)、2020年「白い森」レモネアートワークス(長野)、2016年「Little Little Little…」桜華書林(長野)、2015年「ひかりのなかの永遠」清須市はるひ美術館(愛知)、2014年「信濃美術を見つめる#4 矢島史織」茅野市美術館(長野)、2013年「MIND SCOPE」LIXILギャラリー(東京)、「グループ展」2023年「SICF25」スパイラル(東京)、2021年「パルコde美術館」松本PARCO(長野)、「現代日本画の系譜—タマビDNA展」多摩美術大学(東京)、2018年「シンビズム 信州ミュージアムネットワークが選んだ20人の作家たち」御料館(長野)、「受賞」2022年「FACE展2022」優秀賞、2018年「SHIBUYA AWARDS 2018」Arts部門 渋谷区長賞、2015年「清須市第8回はるひ絵画トリエンナーレ」準大賞・美術館賞、「シェル美術賞2015」準グランプリ

中村真美子 [銅版画・ドローイング 長野市]
NAKAMURA Mamiko

1972年 長野県上水内郡信濃町生まれ、1993年 長野美術専門学校造形学科デザインコース卒業、版画家山下孝子氏、画家 平山英三氏に師事、2012年「信州新世代のアーティスト展 2011 NEXT」ホクト文化ホール(長野)、2013年 個展「中村真美子版画展 草の風景・秋から冬へ」ホクト文化ホール(長野)、2014年 信濃毎日新聞コラム「心をつなぐタクトの調べ」(柳澤寿男)挿画を翌年まで担当、2014年「4つの窓」須坂版画美術館(長野)、2015年「そこにあるもの—モノクロームの魅力—」小海町高原美術館(長野)、2016年 個展「草の風景・冬」秀友画廊(銀座)、2018年「SHINBISM 2」須坂版画美術館(長野)、2023年「特集展示 中村真美子」高崎市美術館(群馬)、2023年「多様」須坂版画美術館(長野)、2024年「Re-SHINBISM 2」茅野市美術館(長野)

松本直樹 [インスタレーション 長野市]
MATSUMOTO Naoki

1982年 長野県須崎市生まれ、2007年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了、アーティスト・コレクティブ「ミルク倉庫+ココナッツ」メンバー、〈主な展覧会〉2014年「まつしろ現代美術フェスティバル 2014」(長野)、2015年「無条件修復 UNCONDITIONAL RESTORATION」milkyeast(東京)、2016年「3331 Art Fair」アーツ千代田 3331(東京)、2017年「ナガノオルタナティブ 松本直樹展」FLATFILE SLASH倉庫ギャラリー(長野)、「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017」岐阜県美術館(岐阜)、2019年「東京計画2019 vol.4」galleryαM(東京)「コレクティブ名義」、2022年「国際芸術祭 あいち2022」愛知芸術文化センター「コレクティブ名義」(愛知)、2024年「天然表現『投錨するアート』」大阪大学中之島芸術センター(大阪)

next+ N-ART 2024

小山利枝子/ナカムラジン/中村真美子/
松本直樹/矢島史織

【会期】11月20日[水]—27日[水] 10:00—17:00 ●休館日: 25日[月]

【会場】ホクト文化ホール1Fギャラリー 〒380-0928 長野県長野市若里1丁目1-3

【主催】ISHIKAWA 地域文化企画室 | 共催 | (一財)長野県文化振興事業団

【企画・運営】ISHIKAWA 地域文化企画室 〒380-0845 長野市西後町610-12 R-DEPOT 2F-I
TEL 026-217-0608 Mail bunkanet@avis.ne.jp